

臨床研究・調査の概要

研究課題名	カンジダ血症に関する実態調査 -多施設共同後ろ向き観察研究
研究の概要	【研究の目的・意義】 血流感染は、発熱後に速やかに提出された血液培養で菌が分離された際に診断される感染であり、その診断は市中/院内感染において重要です。近年悪性腫瘍等に対する外来治療も含めた治療の進歩に伴い菌血症に至る症例も増えていると言われています。カンジダ血症は菌血症の約2%で推移しているとされていますが、症例数としては増加傾向にあると考えられます。カンジダ血症の予後は致命率2-5割と不良であり、対策が求められております。カンジダの予後改善には真菌症フォーラムで報告された ACTIONs Bundle の順守が重要とされています。一方で COVID-19 の流行によりカンジダ血症の予後が悪化した可能性も指摘されており、今後の診療において COVID-19 流行下で診療が進むことから改めて臨床的な特徴や変化の有無など疫学データについて、検討が必要と考えられ、多施設共同後ろ向き観察研究を行うこととしました。 本研究の目的は、カンジダ血症の実態を調査し、全体像を把握することです。また、予後不良因子などを調査します。 【研究対象者】 2010年1月1日～2024年12月31日の間に医療機関で施行された培養結果に基づき、カンジダ血症と診断され、富山市民病院で検査・診療を受けられた方(年齢・性別問わず)を対象とします。 【研究の方法】 カルテ情報を用いて臨床的特徴を解析します。 【研究に用いる試料・情報の項目と利用方法(他機関への提供の有無)】 (試料) 本研究で使用する試料はありません (情報) 患者背景: 年齢、性別、基礎疾患、生活背景など 臨床経過: 症状、病歴、臨床診断、身体所見、感染臓器、菌種、治療など 臨床検査結果: 血液学的検査、生化学免疫学的検査、画像検査、その他の微生物学的検査など 匿名化を行い識別番号を作成し鍵付きのキャビネットに5年間保管します。保管期間を経過した後は、識別番号を消去した上で廃棄します。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2028年4月1日 【研究結果の公表の方法】 感染症あるいは診断に関係する学会あるいは雑誌にて公表します。研

	究結果を公表する際は、匿名化し個人情報を含まないよう十分に配慮します。 【試料・情報の将来の研究における利用】 本研究で得られた情報は、個人情報とリンクしない形で、感染症や病態の補助診断、新しい検査法の開発や検証のために二次利用します。
研究資料の入手・閲覧	研究資料については、研究対象者または当院が認める親族等の方からのご要望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で提供いたします。 研究資料の入手・閲覧を希望される方は、次へご連絡ください 富山市民病院 診療科:血液内科 役職:部長 TEL 076-422-1112(代表) FAX 076-422-1371 e-mail jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp
個人情報の開示に係る 手続	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。
相談等への対応	TEL 076-422-1112（代表） FAX 076-422-1371 E-mail kawasuji@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山市民病院 感染症内科 川筋 仁史